

博士後期課程の手引き 〈臨床心理学専攻〉

改訂版

〈令和7年度（2025年度）改訂〉

西九州大学大学院 生活支援科学研究科
臨床心理学専攻 博士後期課程

目 次

- 第Ⅰ部 臨床心理学専攻 博士後期課程について

- 1. 専攻設置の趣旨・目的 P.1
- 2. 教育理念・目的 P.1
- 3. 学位の名称 P.2

- 第Ⅱ部 修了要件及び博士論文について

- 1. 修了要件 P.3
- 2. 博士論文 P.4
- 3. 修了までのスケジュール P.7

- 様式集

第Ⅰ部 臨床心理学専攻 博士後期課程について

1. 専攻設置の趣旨・目的

急速な社会変動に加えて、感染症や災害に対する支援などの新しい課題が国際的にも発生している現代において、今後の持続可能な社会を担う人の心の心理的な適応・発達上の課題や支援方法の開発などに対応できる次世代指導者の養成が望まれる。さらに、現代の心理的問題に対応しうる高度な心理臨床能力と臨床心理学研究能力を統合する場が必要不可欠と推測される。

そこで、臨床心理学専攻博士後期課程は、現代のさまざまな心理的問題に対応しうる臨床心理学研究者及び高等教育機関等において専門性の高い臨床心理学的実践の指導を行える心理臨床家の養成を目的とする。

2. 教育理念・目標

人が地域社会において豊かで自立した生活が可能となるためには、人の生活を科学する「生活支援科学」というコンセプトのもと、支援対象者の「心の領域」を支える心理的支援が重要である。したがって、現代の心理的問題に対応しうる臨床心理学研究者及び高等教育機関等において専門性の高い臨床心理学的実践の指導を行える心理臨床家の養成を教育理念・目標として定める。

【教育課程編成・運営方針（カリキュラム・ポリシー）】

<教育課程編成の方針>

本専攻では、学位授与の方針に掲げる3つの能力を修得させるため、次のような教育課程を編成する。

1. 博士論文作成における個別指導のための「研究指導科目」と、この分野のさまざまな問題に対して、より深く研究を掘り下げるための「臨床研究科目」を配置する。
2. 博士前期課程での教育・訓練成果を基盤とした上で、臨床心理士、公認心理師の養成・指導にあたることのできる能力をもつ高度な専門的職業人、および社会的要請に応じた実証的研究を遂行しうる臨床心理学研究者を養成するための、実践的・専門的な科目を配置する。
3. 研究者・学生教育指導者を育成するという目標に沿って、博士前期課程の教育研究を成果を深化させ、専門性を特化させるための科目を配置する。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

臨床心理学専攻博士後期課程では、次のような能力を身に付けた上で、必修科目12単位、選択科目より4単位、合計16単位を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格した者

に対し、博士（臨床心理学）の学位を授与する。

1. 臨床心理学に関する幅広い学識と総合的な判断力を持ち、自らの研究の意義や果たすべき役割を論理的に考える能力を身に付けている。
2. 心理学の分野に貢献する先端的な理論を構築するために、高い倫理性と強固な責任感をもった研究者として自立して活動する能力を身に付けている。
3. 高度な専門的学術知識の修得、心理臨床の事例研究能力、心理臨床実践に関する新しい技法や理論の開発能力と「心の専門家」の基盤となる深い学識をもって、国内外や地域社会における臨床心理学に関する課題を自ら見出し、その成果を国内外に発信する能力を身に付けている。

【入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は西九州大学大学院研究科の基本方針を踏まえ、次のように定めている。

1. 心理学における高度な専門的知識を有するだけでなく、心理学の先端的な研究方法と対応スキルをもち、実践することができる者。
2. 幅広い観点から、心理学研究の発展に寄与するような教育研究に携わることができる者。
3. 心理学及び関連領域において幅広く貢献する高度心理専門職業人の育成に資する人材の育成に携わることができるなど教育・研究に携わることを目指している者。

3. 学位の名称

- (1) 研究科の名称：生活支援科学研究科

英文名称：Graduate School of Human Care Sciences

- (2) 課程の名称：臨床心理学専攻 博士後期課程

英文名称：Doctor's Course of Clinical Psychology

- (3) 学位の名称：博士（臨床心理学）

英文名称：Doctor of Clinical Psychology

第Ⅱ部 修了要件及び博士論文について

1. 修了要件

博士後期課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、必修12単位、選択4単位、合計16単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- (1) 所定の期間（3年）在学すること。
- (2) 所定の単位（16単位）を修得すること。
- (3) 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

上記の3つの要件を、全て満たす必要があります。

【参考】

「西九州大学大学院学則」第18条の3 ※一部抜粋

(博士後期課程の修了要件)

博士後期課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、第15条に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

【参考】

「西九州大学大学院学則」別表1－4

別表1－4 臨床心理学専攻（博士後期課程）に係わる授業科目及び単位数（第13条第1項関係）

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考
専門科目	専門教育科目	プレFD：大学教育実践プログラム	1・ 2・3		1	
	臨床研究科目	臨床研究	1		4	<u>(履修方法)</u> 必修科目12単位、選択科目より 4単位以上、合計16単位以上修得すること。
		実践臨床研究	2		4	
研究指導 科目		臨床心理学研究演習Ⅰ	1	4		
		臨床心理学研究演習Ⅱ	2	4		
		臨床心理学研究演習Ⅲ	3	4		
開講単位数				12	9	

2. 博士論文

(1) 博士論文の提出締切

博士論文の提出締切は、第3年次の12月中旬までとします。

(2) 博士論文の提出要件

博士論文を提出するためには、前述の期日までに、下記の要件を満たしておく必要があります。

<博士論文審査の基準>

査読制度の整った国内外の学術雑誌に2報以上を主論文として筆頭著者で発表すること。なお、審査の時点において掲載または受理されているものを発表として扱う。

博士論文の執筆に際しては、投稿する学術誌の執筆要領に基づいてください。

(3) 博士論文の提出方法

前述の期日までに、学位申請書（別紙第2号様式）に博士論文、論文目録（別紙第4号様式）、博士論文の要旨及び履歴書を添えて、教務課に提出してください。

【参考】

「西九州大学大学院学位規程」第5条第2項 ※一部抜粋

(学位の申請)

学位の授与を受けようとする者は、学位申請書（別紙第2号様式）に博士論文、論文目録（別紙第4号様式）、博士論文の要旨及び履歴書を添えて、研究科長に提出しなければならない。

「西九州大学大学院学位規程」第5条の2第1項及び第2項 ※一部抜粋

(修士論文及び博士論文)

修士論文及び博士論文は、1編に限る。ただし、参考資料として他の論文を添付することができる。

研究科長は、審査のため必要があるときは、修士論文及び博士論文の提出者に、当該修士論文及び博士論文の訳文その他必要な資料等の提出を求めることができる。

（４）博士論文の審査方法

博士論文の提出を受け、主査１名と副査３名（外部の副査１名を含めることができる）からなる審査委員会を立ち上げる。客観的で公正な評価を行うため、主査は指導教員以外の専攻科所属教員が担当する。指導教員は副査を担当する。残る２名の副査のうち一名は外部研究機関に所属する研究者に委託することができる。審査委員会は、博士論文に関する公開審査会（発表会）を開催し、質疑応答を行う。その後、博士論文の審査を行って可否を判定し、審査結果の要旨とともに研究科委員会に報告する。以上、単位の取得状況、審査委員会が作成した可否判定結果をもとに、研究科委員会にて総合的に判定を行い、博士論文として適当であると判断された場合、「博士（臨床心理学）」の学位が学長より授与される。

（５）研究倫理審査

ア．研究倫理委員会について

博士論文の作成に際しては、指導教員とともに、「チェックシート」（P26～）※¹に基づき、西九州大学研究倫理委員会での研究倫理審査の必要性を確認してください。

申請を必要とする場合は、必ず指導教員と一緒に「研究倫理審査申請書」（P16～）※¹及び関係資料（「研究計画書」（P29）※¹、「研究協力依頼書」（P30）※¹等）を準備してください。

申請された研究内容によって、審査方法（通常審査・迅速審査）が異なります。

通常審査に該当する場合は、研究倫理委員会が指定した日時に、委員会へ出席（大学院生又は指導教員のどちらかの出席が必要。両名の出席でも可。）し、研究計画の説明及び委員からの質問に答えなければなりません。委員会への出席または申請書類提出後、すぐに研究を開始してよいということではありません。学長からの研究倫理審査結果通知書（承認番号を記載。P34※¹）を受領した後に研究を開始してください。

なお、委員会への出席依頼及び開催日時等は、事務局より指導教員を通じて通知します。

また、研究開始後も報告書の提出が必要となります。長期に渡る研究の場合、原則として毎年１回、「研究実施状況報告書」（P37）※¹により、研究の進捗状況を学長へ報告しなければなりません。研究が終了した場合には、必ず「研究終了報告書」（P41）※¹を学長に提出してください。

イ. 審査の種類、書類の提出期限、方法について (P7) ※1

	通 常 審 査	迅 速 審 査
委 員 会	3月期を除く毎月1回	3月期を除く毎月2回
審 査 方 法	委員会での対面による審査	書類のみの審査
書 類 提 出 締 め 切 り	月1回。毎月15日、17時 就業規則で定められた休日の場合は、その直前の休日ではない日の同時刻とする。	月2回。毎月15日、末日17時
提 出 先	各キャンパス総務課窓口	
提 出 方 法	・ 捺印済の書類一式を提出してください。 ・ ホチキス留めではなく、クリップ留めをお願いします。 ・ 郵送、電子メールでの受付はしません。社会人大学院生等で時間内に提出できない場合は、指導教員を通じて提出してください。	
注 意	・ 委員、事務局スタッフの交代等のため年度を跨ぐ審査は行いません。 ・ 年度内最終提出締切日は2月15日17時です。 (休日の場合は、その直前の休日ではない日の同時刻とします。) ・ 3月提出の申請書類は新年度一回目(5月最終週を予定)の審査です。	

ウ. 様式等の関連資料について

共有フォルダ(■全学教材▶西九__教材▶大学院生用▶研究倫理審査関係)に保管しています。

詳細は、別途配布いたします「西九州大学研究倫理審査申請ガイドブック」を参照してください。

※1 本ページ説明文中のページ数は、「西九州大学研究倫理審査申請ガイドブック」のページ数を示します。

3. 修了までのスケジュール

・第1年次：研究テーマの設定・研究の開始、修了要件単位の修得

4月	履修登録「臨床心理学研究演習Ⅰ」「選択専門科目」
	「研究指導教員希望届」を博士研究指導会議に提出（指導教員決定）
5月	副指導教員決定（1名を専攻内において選出）
	「研究計画書」の提出
9月-10月	履修登録「臨床心理学研究演習Ⅰ」「選択専門科目」
1月	中間発表会の実施（臨床心理学専攻 博士研究指導会議メンバーの前で発表）
3月	「研究成果報告書」の提出

・第2年次：研究の本格的な推進、学術雑誌への論文投稿、修了要件単位の修得

3月-4月	履修登録「臨床心理学研究演習Ⅱ」「選択専門科目」
9月-10月	履修登録「臨床心理学研究演習Ⅱ」「選択専門科目」
1月	中間発表会の実施（臨床心理学専攻 博士研究指導会議メンバーの前で発表）
3月	「研究成果報告書」の提出

・第3年次：学術誌への論文投稿・博士論文の提出（4年目以降も同様のスキーム）

3月-4月	履修登録「臨床心理学研究演習Ⅲ」「選択専門科目」
7月	「博士学位論文提出予備審査請求書」の提出 ※この時点で、審査基準（提出要件）を満たす必要あり。
9月-10月	履修登録「臨床心理学研究演習Ⅱ」「選択専門科目」
1月初頭	「博士論文」の提出 ＜各4部を教務課へ提出＞ ※提出物：博士論文、学位申請書、論文目録 博士論文の要旨、履歴書 「様式集」を参照のこと 「博士論文審査委員会」の設置 ※主査1名と副査3名（外部の副査1名を含めることができる）
1月中旬 -2月中旬	論文審査 1. 博士論文の審査（口頭試問） ※博士論文審査委員会が実施 2. 博士論文に関する公開審査会（公聴会）の開催
2月中旬	修了判定（大学院教務委員会、研究会委員会、学部長会議）
3月	大学院修了・学位授与 博士論文の製本、リポジトリ登録

＜博士論文審査の基準＞（提出要件）

査読制度の整った国内外の学術雑誌に 2 報以上を主論文として筆頭著者で発表すること。なお、審査の時点において掲載または受理されているものを発表として扱う。

研 究 指 導 教 員 希 望 届

令和 年 月 日

生活支援科学研究科
臨床心理学専攻 博士後期課程

学籍番号：_____

氏 名：_____

私は、下記の先生の指導を希望しますのでお届けいたします。

記

1. 研究指導教員 _____

(注意)

1. 提 出 先： 教 務 課

年 月 日

生活支援科学研究科 臨床心理学専攻 博士後期課程

年度 研究計画書

学籍番号		氏 名	
------	--	-----	--

1. 研究題目

2. 研究の概要（研究の意義、先行研究、研究方法などを記載してください。）

3. 研究計画（博士学位論文提出予備審査請求までの年次計画を記載してください。）

* 記載欄の行数は適宜追加してください。

* 所定の期日までに教務課へ提出してください。

指導教員印		教務課	
-------	--	-----	--

年 月 日

生活支援科学研究科 臨床心理学専攻 博士後期課程

年度 研究成果報告書

学籍番号		氏 名	
------	--	-----	--

1. 研究題目

2. 博士論文の構想（論点、展開方法及び進捗状況などを記載してください。）

3. 研究の発表状況（研究発表状況を記載してください。）

4. 研究計画（博士学位論文提出予備審査請求までの年次計画を記載してください。）

* 記載欄の行数は適宜追加してください。

* 所定の期日までに教務課へ提出してください。

指導教員印		教務課	
-------	--	-----	--

年 月 日

生活支援科学研究科 臨床心理学専攻 博士後期課程

年度 博士学位論文提出予備審査請求書

学籍番号		氏 名	
------	--	-----	--

1. 研究題目

2. 予備審査請求要件

(1) 学術雑誌掲載論文 (1 篇)

・「雑誌名」「発行年」「巻号数」「頁」「執筆者」「論題」「雑誌名」

※この部分は消してご利用ください。

(2) 学会発表 (2 回以上)

3. 論文作成言語

4. 博士論文の構想

(1) 論文の意義、目的

(2) 研究の方法

(3) 論文全体の構想 (章構成含む)

5. 研究計画 (博士論文提出までの年次計画を記載してください。)

* 記載欄の行数は適宜追加してください。

* 所定の期日までに教務課へ提出してください。

指導教員印		教務課	
-------	--	-----	--

研究題目変更届

令和 年 月 日

生活支援科学研究科
臨床心理学専攻 博士後期課程

学籍番号：_____

氏 名：_____

私は、下記の先生の指導によって、次の題目に研究題目を変更するのでお届けします。

記

1. 研究指導教員 _____ (認 印)

2. 研 究 題 目 _____

3. 変更前の研究題目 _____

(注意)

1. 提 出 先： 教 務 課

別紙第2号様式（第5条第2項関係）

博士の学位申請の様式

学 位 申 請 書

年 月 日

西九州大学大学院生活支援科学研究科長 殿

西九州大学大学院生活支援科学研究科
臨床心理学専攻

氏名 印

このたび、博士（臨床心理学）の学位の授与を受けたく、西九州大学大学院学位
規程第5条第2項の規定に基づき、下記の書類を提出しますので、御審査くださる
よう御願います。

（添付書類）

博士論文 4部、論文目録 4部、博士論文の要旨 4部、
参考論文 各4部、履歴書 4部、参考資料 各4部

別紙第4号様式（第5条第2項関係）

論文目録

報 告 番 号	甲 第 号 乙	氏 名	
博 士 論 文			
題 名			
(既に印刷公表したものについては、その方法及び年月、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること。)			
参考論文			
題名、雑誌名、巻（号のみの雑誌は号） 頁一頁、発行西暦年月			
()			
題名			
(同 上)			

備考

- 1 博士論文の題名が外国語の場合は、日本語で訳文を（ ）を付して記入すること。
- 2 報告番号は、記入しないこと。

履 歷 書

学籍番号			
(ふりがな) 氏 名	印 年 月 日生	性別	男・女
生年月日		本籍地	
現住所			
(学 歴)			
〇〇年 月	〇〇高校 卒業		
〇〇年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学		
〇〇年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業		
〇〇年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程 〇〇専攻 入学		
〇〇年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程 〇〇専攻 修了		
〇〇年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士後期課程 〇〇専攻 入学		
(現在に至る)			
(職 歴)			
(研 究 歴)			
1. 学位論文に関するもの			
(1) 学術論文			
(2) 学会報告			
2. その他の学位論文に関する研究業績			
(1) 著書			
(2) 論文			
(賞 罰)			

論文内容の要旨

学籍番号	
氏 名	
論 文 名	(※論文名が外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を()内に記入してください)

同 意 承 諾 書

私は、下記の共同研究論文を 氏の学位論文とすることを承諾
します。

なお、この論文を私の学位論文に使用することはありません。

また、氏が博士学位授与後に、博士学位論文をインターネット
の利用により公表することを許諾いたします。

記

論文題目（外国語の場合は、その日本語訳を付記すること）

（論文題目）○○○○○○○○○○

学会誌・雑誌名,巻・号,頁,発行年月

年 月 日

共同研究者

氏名 印

氏名 印

氏名 印

(注)共同研究者が複数の場合の同意承諾書は1人ずつ別葉にしてもよい。